

KOREA
JAPAN

次代の学校国際交流を
目指して



エネルギーデバイス
圧電効果を利用して
LEDを点滅



NULLA RUTRUM
COMMODO LIGULA
NUNC UT LECTUS



韓国で有名な教師
テクノロジー部門で唯一
教育界から表彰

COLLABORATION_5



ソウル技術教育を実際に体験

このC5 (collaboration5)で同志社中学校にお越しいただいたのは、ソウルの技術教育をリードしている実践家のチョヨン氏である。彼は教科書を執筆しながら、韓国テクノロジーアワードでLGやSamsungのエンジニアに並んで教育部門から唯一選出された中学校教員である。2013年の時の人であるわけだ。

彼は、圧電素子を用いた電気工作を提案した。圧電効果により発生す

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた

る電気でLEDを点滅させる電気工作のおもちゃを題材に選んできた。題材で用いる原理自体はシンプルであるが、ここでの経験が、逆圧電効果、スピーカー、アクチュエータ、発電装置など次の発想の源泉となるからだ。

材料は、ブリッジダイオード、LED、圧電素子、スチレンボード。接続も至ってシンプルでハンダ付けを行わずにステッカーで手軽につなげて行く。電子部品＝ハンダ付けという固定観念を持っている自分に気づかされた。

2時間授業で行っているものを1時間でお願ひしたので時間的には無理があったが、とても有意義な体験となった。チョヨン氏は自己紹介のみ日本語で行い、あとはシンプルな英語で何の違和感もなく進められた。特にものづくりの場面では、言語の壁を乗り越えやすく、文法・コミュニケーションの先にあることをいち早く共有しやすいのだなと実感できる時間でもあった。



手作りのおもてなし



アジアの人々と上手くコミュニケーションをとりながら、共同で商品をデザインしていくことは既に一般的になっている。その原体験になってもらえれば…。それが、アジアものづくりプロジェクトの出発点である。